

令和3年度 議会報告会 中学生との意見交換会

令和3年11月2日（火）	開会 15 時 48 分
5階 第1委員会室	閉会 17 時 15 分

午後15時48分

開会

○レクチャー（榛葉議員）

議員紹介、生徒自己紹介、質疑の流れ、南中の質疑内容の順番変更を説明

○司会（大久保議員）

ただ今から令和3年度議会報告会 中学生との意見交換会を開催します。レジメに沿って行います。はじめに、教育長より、ご挨拶をお願いします。

○山田幸男教育長

市内3中学校を代表する生徒のみなさん、こんにちは。ようこそ議場へ。突然ですが、皆さんは、瑞浪市が好きですか？大人になってからも。この瑞浪市に住みたいと思いますか？今日、ご出席の市議会議員のみなさま、そして私たち市役所の職員は、そんな瑞浪市を作りたいと思って、毎日仕事に精を出しております。私は、瑞浪市教育長の山田と申します。教育委員会は、ふるさと瑞浪を愛し、ふるさと瑞浪に誇りを持つ、そんな教育のまち「みずなみ」を作りたいとふるさと教育を推進しています。瑞浪を愛し、誇りに思うためには、まず瑞浪市を知ることが必要です。そういう意味で、本日の意見交換会は、中学生のみなさんが瑞浪のことや、市政について、よりいっそう多くの事を理解する良い機会だと思います。また、みなさんからは本日発表していただく質問をはじめとして、他にも多くの質問あるいは意見、提言をいただいています。中学生のみなさんがどんなことを考えているか、そのことを知ることは私たちにとっても大変貴重な機会です。

衆議院議員選挙がこの日曜日に終わったばかりです。みなさんも3年後には選挙権を与えられます。次の衆議院議員選挙にはみなさんは投票に行くことになります。本日の意見交換会は、瑞浪市や市議会の事を知るだけにとどまらず、皆さんが瑞浪市民の一人として市や国の政治、あるいはまちづくりに参画することにつながります。本日の会が、今後のみなさんの勉強や勉強のみならず社会参加につながることを期待しています。

最後になりますが、本日このような会を開いてくださいました瑞浪市議会の皆様に感謝を申し上げてあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

○司会（大久保議員）

ここで加藤議長からごあいさつを申し上げます。

○加藤輔之議長

本日は、中学生のみなさん、ようこそおいでくださいました。事前の学習会で、二代表制についてはしっかりと勉強されてきてみえると思います。市民のためのまちづくりを実現するために、議会は二代表制の役割が強く求められ、市民に信頼される身近で開かれた議会となっていく必要があります。瑞浪市議会条例第5条に基づき、市政に対し広く市民と議員が自由に情報を交換するため、議会報告会を行うこととなっています。議会報告会を通して市民と多くの課題を共有し、得られた意見は整理分類し、適切に対応するとともに今後の議会活動に活かしていきます。本日は、実際の議会の雰囲気を市政一般質問の形式で体感してもらいます。中学生のみなさんの活発な意見を期待します。

○司会（大久保議員）

これより中学生のみなさんの一般質問を始めさせていただきます。それでは、瑞浪南中学校質問者の3名は質問席へお願いします。議事の進行は、議長お願いします。

○加藤輔之議長

はい。それでは、質問者1番 瑞浪南中学校大島寛奈さん

○1番 瑞浪南中学校 大島寛奈さん

はい。1番瑞浪南中学校大島寛奈です。私からは、市内の道路環境について質問します。道路を使うにあたって、危ないことや困っていることがあります。南中の生徒の意見からいくつか話します。稲津町では、土砂災害対策の工事が行われる予定ですが、まだ始まっていないので人が通れなくて、困っているそうです。また、下小里にある時差式信号が分かりずらくていつも危ないです。他にも道ががたがたで自転車道路が危ないところがあります。このような道路環境で困っていることがあるのですが、道路環境の改善についてどのようにお考えになっているかお聞きしたいです。

○加藤輔之議長

ただ今の質疑について、答弁者 三輪田幸泰くん

○三輪田議員

はい、議長。みなさんこんにちは。私は、昭和53年度今から43年前の稲津中学校卒業生の三輪田幸泰といいます。部活は卓球部で、市内の個人戦の成績は市内第2位でした。

市内の道路環境の改善についてお答えします。道路には、国が管理する国道、県が管理する県道、市が管理する市道、個人が管理する私道、また林道などがあり、それぞれの管理者が責任をもって管理しています。

ご意見の道ががたがたで自転車が通ることが危なかったりすることについては、通学路であれば、市内の通学路は瑞浪市教育委員会において「瑞浪市通学路安全対策プログラム」に則って瑞浪市通学路の安全点検を行っています。（令和2年度の各学校区での危険対策個所の協議点検が行われたことを説明）対応できる箇所は素早く対策が講じられています。ご指摘の件については、学校へ通報してください。また、通学路以外であれば、地域の区長会を通じて地区要望として市へ提出することになるので、保護者の方と相談をしてお住まいの地区に通報してください。また、それでも進展しない場合は、私たち瑞浪市議会に連絡ください。緊急性が高い場合は、速やかに対策を講じることになります。

続きまして、時差式信号が分かりにくくて危ないについてです。下小里交差点の「矢印式信号機」の事と思いますが、これは南北は一方向通行、東西は両方通行となっており、この構造は交通量で決められています。わかりにくいので危ないについては、上げ足をとるようですが、見切り発信をしないで、信号に従って進行すればなにも問題ありません。交通ルールを守りましょう。

土砂災害対策についてですが、今年の夏も長雨で稲津町だけでなく市内で土砂災害が起きました。現在応急措置が行われており、9月の補正予算により今後災害復旧工事が順次行われます。大きな工事は、多くの時間が必要です。ご指摘の工事も、順次進められるのもうしばらくお待ちください。最後になりますが、近くの大人を頼ってください。

○加藤輔之議長

三輪田議員、時間を超過しております。

○三輪田議員

最後になりますが、自分で解決できないときは、親、学校、地域を頼ってください。よろしくお願いします。

○1番 瑞浪南中学校 大島寛奈さん

ありがとうございました。

○加藤輔之議長

質問者 2番 瑞浪南中学校 正村亜衣瑠さん

○2番 瑞浪南中学校 正村亜衣瑠さん

はい、2番 瑞浪南中学校の正村亜衣瑠です。私は、稲津や陶を子供が安心して生活できる環境にすれば少子化は防げるのではないかと考えました。今、稲津や陶には大きな公園がありません。だから、小学生や中学生は、道路や公民館の駐車場で遊んでいて、とても危ないです。実際、小学生が車とぶつかりそうになるところを何度か見たことがあり、怖くなりました。このように稲津や陶は子供が安心して遊べる環境ではありません。だから、稲津や陶に大きな公園を作ってほしいです。公園があれば、小学生は楽しく安心して遊ぶことができ、親も安心できます。子育てしやすい環境を作って、少子化を防ぐためにも、大きな公園は必要だと思います。ご検討をよろしくお願いします。

○加藤輔之議長

ただ今の質疑について、答弁者 成瀬徳夫くん

○成瀬議員

正村さんはどこにお住まいですか？それでは、正村さんの表題「公園設置について」にお答えします。現在、瑞浪市には都市計画公園の内街区公園が27か所、近隣公園が3か所、総合公園として瑞浪インター近くに運動公園を含んだ大きな市民公園がひとつあります。しかしながら、今の都市公園のほかに、そういう公園を市で整備して行くということは、財政的に非常に難しいことです。また、場所の問題もありますので、すべての地域にそのような公園の整備を進めていくということは非常に難しいのが現状です。

正村さんがお住まいの稲津には現在4か所の児童遊園が整備されています。水洗、中洞、稲荷神社の境内であったり、羽広地区においては、遊具が置いてあったり、広場があったりというような場所があります。

この児童遊園は地域のみなさんと連携を取りながら、市が管理しています。児童遊園の遊具については、子供たちが怪我をしないよう年に2回定期的に保守点検をしており、万が一壊れていたらいち早く修理するなど、それぞれ地域の方と連携をとって、こどもたちが安全に使用していただける児童遊園地となるよう管理しています。このため、安心して利用いただけるものです。

公園では球技ができないとのご意見ですが、私の地域でもそのような要望があります。例えば、市民公園いこいの広場の片隅にバスケットゴールを設置してほしい、ドッジボールができる公園が欲しいなど公園のない地域からは公園の設置要望がありますが、冒頭で申し上げたように、財政面、場所、維持管理の問題があるため、設置することが難しい状況です。今回このような要望があったことは、行政サイドへ伝えます。

○2番 瑞浪南中学校 正村亜衣瑠さん

ありがとうございました。

○加藤輔之議長

質問者3番 瑞浪南中学校 内田有香さん

○3番 瑞浪南中学校 内田有香さん

はい。3番 瑞浪南中学校 内田有香です。私からは、中学校におけるコバエ対策について話させていただきます。毎年、南中では梅雨から秋にかけて毎年、コバエが大量発生します。その影響で、南中では次の事が起きています。①目の充血など、健康被害を訴える生徒がいる。②授業やテストに集中できない。③悪臭が発生する。④校内で死骸が大量発生し掃除が大変になるなどです。これらの対策として南中では、生徒と先生方が協力し、窓のサンの部分に消毒を吹きかけたり、水を張ったバケツを置いたりするなど、たくさんの工夫をしています。これだけしても効果が出ないため、毎年みんな大変な思いをしています。そこで、学校へのコバエ対策を行ってほしいと思います。コバエ対策を行うことでより良い学習環境ができると思います。ご検討をよろしくお願いいたします。

○加藤輔之議長

ただ今の質疑について、答弁者 辻正之くん

○辻議員

はい。瑞浪中学校卒業生の辻正之です。よろしくお願いします。それでは、コバエ対策についてお答えします。コバエについては内田さんがおっしゃるとおり、多くの地域で困っています。市にも多くの相談が寄せられているようです。

正式には、「クロバネキノコバエ」と言うそうですが、生体については不明な点が多く、駆除することが難しいとされています。

対策については、市には研究機関はありませんが、岐阜県が主体となって各務原市にある保健環境研究所（県の施設）や製薬会社と殺虫剤の研究を進めています。また、岐阜大学とともに発生を防ぐための調査研究をしてくれているそうです。調査研究の結果が待たれるところですが、調査研究は始めたばかりだそうで、結果はまだ出ていません。

現状で皆さんができる対策としては、コロナ禍において換気は非常に大切ですが、換気の時間帯を工夫するなど、今できる対策について学校と話し合って実行してはいかがでしょうか。以上、答弁とさせていただきます。

○3番 瑞浪南中学校 内田有香さん

ありがとうございました。

○司会（大久保議員）

瑞浪南中学校のみなさんありがとうございました。自席をお戻りください。続きまして、瑞浪北中学校の質問者の3名の方、質問席へお願いします。

○加藤輔之議長

質問者 4 番 瑞浪北中学校 酒井紗季さん

○4 番 瑞浪北中学校 酒井紗季さん

はい。4 番 瑞浪北中学校 酒井紗季です。瑞浪市には、外国人に対する支援が少ないと思います。外国人のために、通訳・翻訳ができるようにしたり、可児市の文化交流センターのようにさまざまな文化を持つ人たちが交流できる場があるといいという意見が出ました。実際に、文化や言語の違いで困ったことがあるか、外国にルーツをもつ生徒に意見をもらいました。例えば日本語が読めないため、学校からのお便りが読めず大事な書類が読めなくて困ったとか、名古屋と比べて、外国人のための学校が少ないんじゃないかという意見がありました。外国の方がより住みやすい場所とするために、今どのような取り組みを行っている、今後どのような対策をしていくのかお聞きしたいです。

○加藤輔之議長

ただ今の質疑について 答弁者 渡辺康弘 くん

○渡辺議員

はい。こんにちは、酒井さんにご質問いただきました「外国人への支援について」お答えしたいと思います。酒井さんの言われた通り、外国人への支援はまだまだ弱いと考えています。グローバル化が進み、多文化共生が当たり前の時代の中ですので、私も瑞浪市に対しても一般質問などで支援の強化を質問しておりますので、今回は答弁者という形で回答させていただきます。

瑞浪市には今年10月1日現在で総人口36,592人のうち外国人は1,077人が住んでおられます。総人口は年々減っていますが、外国人の数は1,050人から1,100人ほどで推移しています。

ご質問いただいた、現在の支援については、まず、ごみ分別サブリ「さんあ〜る」が英語・ポルトガル語・ベトナム語・中国語に対応しており、観光パンフレットも英語バージョンがあります。また、身近なところでは公園とかにあります防災ガイドの看板がありますが、今は外国語の方にも対応しています。もちろん、市民課の窓口では簡単な英語や韓国語などに対応できるようになっています。そして市の支援策などを知っていただくために、市のホームページの英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語に翻訳対応も行なっています。

これらのガイドブックをもらってきましたので、帰りにプレゼントいたします。

瑞浪市には様々な方が交流できるセンターのようなものではありませんが、多世代交流施設として期待される瑞浪市駅前のMビルのような施設が今後は異文化交流の拠点としても期待できます。Mビルでは10月30日に「瑞浪クリエイター・グローバルアクション2021」を市内の高校生の協力を得て開催しました。そこではアメリカワシントンDCを拠点に活躍するクリエイター集団とCEOと瑞浪市在住のまたは瑞浪市内に職場、学校がある方との交流が行なわれました。このような事業を重ねていく中で多文化共生、異文化交流が進むことを願っています。

今後、予定される瑞浪駅前周辺の再開発など公共施設の整備のタイミングで、酒井さん達若い世代の声が反映されるように、議会からも市に要望していきたいと思いますので、気軽に議員に声をかけてもらえればと思います。これで、答弁を終わります。

○4 番 瑞浪北中学校 酒井紗季さん

私も、資料等を拝見して、外国の方への支援について理解を深めていきたいと思います。ありがとうございました。

○加藤輔之議長

答弁者に申し上げます。制限時間を守ってください。

それでは次に、質問者 5 番 瑞浪北中学校 市川 凌 さん

○5番 瑞浪北中学校 市川 凌さん

はい。5番 瑞浪北中学校 市川凌です。僕は、釜戸駅の開発をお願いしたいと思います。自分も釜戸出身で、釜戸駅を使ったことがあるのですが、釜戸駅は切符を買うときお昼までしか駅員さんがいなくて、午後から駅を使おうとしたとき。困ったことがありました。釜戸駅は便利とは言えないので、駅の改修をすることよりも、切符などの販売など瑞浪駅と差が広がらないようにしてほしいと思います。ご意見をよろしくお願いします。

○加藤輔之議長

ただ今の質疑について、答弁者 館林辰郎くん

○館林議員

はい。市川君、難しい質問をありがとうございました。難しいというのは、釜戸の駅は民間企業のJR東海が経営しているからです。民間企業に対して、市議会から意見を言うことは難しいので市の行政を通じてJRに意見を言うてもらうことになります。これまで、市議として手数料について質問したことはありますが、駅の開発については質問したことはありません。

今、釜戸駅に切符販売機がないのは、利用者が少ないため儲からないからです。釜戸駅での切符販売は、15年前にJRから委託を受け、今は釜戸町まちづくり推進協議会の職員が行っています。JRから、乗車券の販売額に対して手数料をもらいますが、15年前は200万円、今は50万円と利用者が減っています。これまで、市議として手数料について質問したことはありますが、駅の開発については質問したことはありません。切符販売機等の施設の整備を進めるためには、まずは利用者を増やすことであり、本当に難しい課題です。また、切符販売機が入ったら釜戸駅での雇用者が不要となるため、別の簡単に課題となってきます。

○5番 瑞浪北中学校 市川 凌さん

ありがとうございました。難しい質問で申し訳ありませんでした。釜戸駅のことについて考えてくださってありがとうございました。

○加藤輔之議長

質問者 6番 瑞浪北中学校 林 弥 さん

○6番 瑞浪北中学校 林 弥 さん

はい。6番 瑞浪北中学校 林 弥です。瑞浪市では、災害時に避難所に必要なものがあるかについて質問します。北中で、災害時に何が必要かというアンケートをしました。食料や水、トイレなどもありましたが、空調設備、WiFi環境についての意見もありました。瑞浪市の避難所には、生活するために必要なものや、夏などに対応できるよう空調設備や電気の設備がそろっているか質問したいと思います。お願いします。

○加藤輔之議長

ただ今の質疑について 答弁者 奥村一仁くん

○奥村議員

はい。林君、ご質問ありがとうございます。それでは、災害時の避難所や食料などの備蓄についてお答えいたします。瑞浪市には、小中学校やコミュニティーセンターなどの指定避難場所が39か所あります。また、各自治会で『一時避難所』を決めてもらっていますので、みなさんがお住まいの地区にも避難所があります。ただし、浸水想定区域内や、土砂災害の警戒区域内に避難所がある地域もありますので、水害時、土砂災害時に避難所として使用できない場合がありますので、注意が必要です。

災害時用食料は、現在1000人が避難した場合に約3日分の食料を、各市役所の倉庫や各コミュニティーセンターに備えており、災害が起きた場合は、各避難所へ届けられるよう体制が整えられています。また、瑞浪市では市内各企業などから災害応援協定を結んでいるため、大規模災害時には食料や物資を提供して頂く事となっています。最近では、生理用品の備蓄も提案により実現しています。

みなさん、防災の基本は、自助・共助です。自分の身は、自分で守り、地域の人々で力をあわせて協力することが必要です。みなさんもお自宅で、いざというときにすぐに持ち出せるよう、非常用持ち出し品や、備蓄食料を準備して、日ごろから防災対策を心がけてください。また、地域の『一時避難所』にも備蓄品があることを、確認していくといいです。中学生のみなさん、災害から命を守るために、今後も常に防災の意識をもっていていただくことが大切です。ご意見やご提案があれば、市や地元の自治会、また私たち議員に伝えていただきたいです。

最後に空調設備やWiFi環境についてですが、各コミュニティーセンターは整っていますが、各自治会で定めた避難所の地区公民館等は整っていないところもあると思います。ない場合は、自治会に要望していただくと整備してもらえる場合もあると思います。以上、答弁いたします。

○6番 瑞浪北中学校 林 弥 さん

災害対策について、しっかり考えてくださっていることが分かって、とてもうれしく感じました。ありがとうございました。

○司会（大久保議員）

瑞浪北中学校のみなさんお疲れさまでした。自席をお戻りください。続きまして、瑞浪中学校の質問者3名の方、質問席へお移りください。

○加藤輔之議長

それでは瑞浪中学校 質問者7番 瑞浪中学校 大橋宏紀 さん

○7番 瑞浪中学校 大橋宏紀 さん

はい。質問者7番 瑞浪中学校の大橋宏紀 です。ばくは、瑞浪市民図書館のリニューアルについて提案したいと思います。瑞浪中学校で瑞浪市民図書館で本を借りたことがあるかについてアンケートをした結果、瑞中全体の約6割の生徒が借りたことがないという事が分かりました。さらに、学習室を使ったことのある生徒は全体の25%しかいませんでした。これらの事から、瑞浪中学校の生徒は、市民図書館に魅力を感じていないという事が分かりました。そこで、もっと光を取り入れたデザインにしたり、若者でも使いやすくしたり、若者が借りたい本を増やしたり、気軽にインターネットを使えるようにするといったと思います。また、学習室は、恵那市中央図書館のように窓際で明るく多くの人が利用しやすくなるよう工夫してほしいと思います。市議会議員の方はどうお考えでしょうか。ご意見を聞かせてください。よろしくお願いします。

○加藤輔之議長

ただ今の質疑について、答弁者 樋田翔太くん

○樋田議員

はい。大橋くんありがとうございます。それでは、質問にお答えします。
私も学生時代、学習室を利用していましたが、半地下にあってかなり暗いし、入るときに利用券を出すなど手続きが煩わしくて利用しづらいなと昔から感じておりました。
この質問については駅周辺開発と関連がありますので、いくつか絡めて答弁します。今の瑞浪駅周辺は昭和50年代に整備されているので約40年たっています。建物も老朽化し、商店街の賑わいの再興などまちづくりの課題があります。このため、住民と一緒に、駅周辺の再開発事業に取り組んでいるところです。図書館や文化センターも建設から三十何年経って、老朽化しています。そこで、駅の北側にこの図書館や文化センターを持って行って、複合施設として整備することが検討されているところです。その時に、施設自体壊して持っていくので、こういう風になるといいなというみなさんからの意見をいただけたらいいと思います。例えば、複合施設の図書館として、雑音のない静まり帰った本を読むだけの施設だけではなくて、BGMがかかったり、友達と相談しながら勉強できるスペースがあってもいいのかなと思っています。カフェやゆっくりくつろげるスペース等を導入した「サロン型図書館」として整備が計画していただきたいと、要望を出しているところです。
駅周辺の再開発は未来の子どもたちに渡せるまちをコンセプトにしており、これは今開発して終わりではなく、次の世代が使いやすいような場所を確保すると事が必要です。そのためには、アンケートをとったりワークショップを開催して、若い人たちの声を届けてほしいと思います。図書館や文化センターを利用する若者の声が反映された瑞浪市をPRできるような素晴らしい施設を作りたいと思いますので、ぜひ若いみなさんの意見をお寄せください。よろしくお願いします。以上答弁とさせていただきます。

○7番 瑞浪中学校 大橋宏紀 さん

僕は、相談しながら勉強できるスペースというのがとてもいいと思うので、ぜひその方向に向かってほしいと思います。ありがとうございました。

○加藤輔之議長

つぎに質問者8番 瑞浪中学校 伊藤雄星 さん

○8番 瑞浪中学校 伊藤雄星 さん

はい。質問番号8番 瑞浪中学校 伊藤雄星です。僕は、街灯についての提案をしたいと思っています。瑞浪市の安全と安心を守るための街灯について先ほどの提案と同様に、瑞浪中学校で街灯についてアンケートをとりました。その結果、全生徒の約8割が街灯をもっと増やしてほしいと考えていることが分かりました。この結果から、夜の瑞浪市の安全と安心が確実に守り切れていないことが窺えます。最近では、全国的にも夜の暗い時間帯を狙った痴漢被害がおきていること目にするのが多くなりました。また、瑞浪市内でも時々このような事件がおきることがあります。そうした問題を解決するためにも、もっと僕たち瑞浪市民が安全かつ安心して生活できようになるためにも、ぜひ街灯の設置本数を増やすことについて検討していただきたいと思います。市議会議員の皆様は考えてお見えでしょうか。ご意見をお願いします。

○加藤輔之議長

ただ今の質疑について、答弁者 熊谷隆男くん

○熊谷議員

はい。伊藤君ありがとうございます。毎日犬の散歩しているのですか。

瑞浪中学校の8割の生徒さんが街灯を増やしてほしいと考えていることに驚いています。街灯は3つの種類があり、道路を照らす道路照明灯、二つ目が駅前商店街など歩きやすくするための街路灯、もう一つが防犯灯といえます。市内の街灯のほとんどが防犯灯で、現在市内に4594灯あります。これまで、各地区からの申請により防犯灯を設置し、また、すべてをLEDに交換しました。設置した防犯灯の管理は、それぞれの地区（自治会）で行ってもらっています。街灯には電気代が必要なもので、管理というのは電位代の負担を各地区にお願いしていることを意味しています。

令和3年度からは、防犯灯の新規設置は補助金が出ることになりましたので、自治会で防犯灯をつける土地を確保して申請していただき、市が設置して、その後の管理は、これまでと同様に自治会で行ってもらいます。このため、防犯灯の設置は、その地区のみなさんが望んで必要であると判断した時に設置できます。みなさんが要望したい場合は、まず地元の区長さんに話してもらって、自治会から生活安全課に要望してもらうことで設置できます。警察に要望してもいいです。まずは、声を上げることが必要です。

○8番 瑞浪中学校 伊藤雄星 さん

わかりました。僕の親にお願いして、動いてもらおうと思いました。ありがとうございます。

○加藤輔之議長

次に質問者9番 瑞浪中学校 木股快斗 さん

○9番 瑞浪中学校 木股快斗 さん

はい。質問番号9番 瑞浪中学校 木股快斗です。僕は、地域共有で利用できごみ箱の設置について提案したいと思っています。先ほどの2人の提案と同様、瑞浪中学校の生徒にアンケートを取ってきました。その結果、地域共用のごみ箱を必要と感じている人が全校生徒の約9割もいることが分かりました。この結果から、多くの人がごみ箱を必要とし、反対にごみ箱がない現状が不便であるといえます。また、通学路や川沿いにはポイ捨てが多くみられます。このため、家庭内のごみが捨てられることが問題ではありますが、例えばスーパーと協力して、スーパーの近くにごみ箱を設置することは可能ではないでしょうか。気づいた人がごみをごみ箱へ捨てることが浸透する、ごみ箱の必要性は高いと感じます。このようなことから地域共用のごみ箱の設置についてご検討していただきたいです。市会議員のみなさんのご意見をお聞かせください。

○加藤輔之議長

ただ今の質疑について、答弁者 柴田増三くん

○柴田（増）議員

はい、議長。木股くんのような志の高いことは素晴らしいことだと思います。実は、瑞浪市も以前は公共施設等にもごみ箱を置いていました。過去においていた頃は、ごみ箱からごみがあふれるほどのごみがありました。そうした中、町をきれいにする条例を制定して、自分が出したごみは自分で持ち帰るという決まりを作り、現在はごみ箱を減らしている現状です。コンビニでも、お店の中にごみ箱を設置するようになってきましたが、これは自分が出したごみは自分で持ち帰りましょうという意味でもあります。瑞浪市では、黄色のごみ袋が可燃ごみ、透明の袋が不燃ごみでそれぞれの地域で収集日が決まっていて、ごみは収集車が回収します。共有のごみ箱が欲しいとのことですが、まずは、自分が出したごみは自分でごみ収集日に出すようにしましょう。以上で、木股君の質問への答弁とします。

○9番 瑞浪中学校 木股快斗 さん

まずは、瑞浪中学校の中でごみのポイ捨てをやめようと呼びかけていくことにします。ありがとうございました。

○司会（大久保議員）

瑞浪中学校の質問者の方おつかれさまでした。自席をお戻りください。
それでは、これより10分程の時間ではございますが、これまでの質問で再度聞きたい事や、本日の質問以外でも意見、質問がございましたらお受けしたいと思います。これよりは、自席での発言といたします。

○加藤輔之議長

その他の質疑、再度質問がある生徒さんは挙手をお願いします。

— 瑞浪北中学校 桑原鍊成さんが挙手 —

○加藤輔之議長

瑞浪北中学校 桑原鍊成さん

○瑞浪北中学校 桑原蓮成さん

はい。瑞浪北中学校の桑原蓮成です。瑞浪中学校や瑞浪南中学校の話にもありましたが、僕も道路の整備について思ったことがあるので、話させていただきたいと思います。市原の国道の横に雑草が非常に多くて、歩きにくいところがあります。それも含めて道路の整備について検討していただきたいです。市議会の意見をお聞かせください。

○加藤輔之議長

どなたか答弁はありませんか。

柴田増三君。

○柴田（増）議員

道路の件は、いろんなところで要望があります。瑞浪市の市道はすごくたくさん、長い距離がありますが、市の職員が全ての道路を確認に行くことは出来ません。道路を使われる方、周辺地域の方にボランティアでの草刈りをお願いしています。また、本当に草で見通しが悪いなど危険なところは業者に委託しています。できれば、皆さんが使われる道路は、地域で、自分たちで清掃をしていただくようにお願いします。

○加藤輔之議長

追加ですか。渡邊康弘君。

○渡邊議員

柴田議員が言われるように、道路清掃は各地域でお願いしたいところです。例えば土岐川清掃など組、地区単位で参加する清掃活動があります。しかし雑草が伸びて通学時に本当に危険なところは、学校へ、また地区会長さんに伝えてもらおうと、対応できると思います。

○瑞浪北中学校 桑原蓮成さん

自分も地域の方たちと一緒に、ボランティアに参加したいと思います。ありがとうございました。

○加藤輔之議長

他にありませんか。

－ 瑞浪中学校 伊藤小桜さんが挙手 －

○加藤輔之議長

瑞浪中学校の伊藤小桜さん

○瑞浪中学校 伊藤小桜さん

はい。瑞浪中学校の伊藤小桜です。先ほど、木股快斗さんがごみ箱の設置について話された時、共用のごみ箱の設置は難しいとのことでした。瑞浪市はポイ捨てが多いと思いますが、ポイ捨てについて看板をつけるごみ箱を設置する以外に、瑞浪市では何か対策は考えていますか。

○加藤輔之議長

はい。柴田増三くん。

○柴田（増）議員

町をきれいにする条例で、環境美化監視委員が設置されており、市内8地区にそれぞれ約3人、市内全体で30人程度の委員がいます。委員はボランティアで活動してもらっていますが、車で出て見回り、ごみが落ちていたら拾ってきてもらっています。瑞浪市ではポイ捨てに対して、現状は罰金はありませんが、テレビなどの不法投棄には3年以下の懲役あるいは300万円の罰金が科せられます。ごみを捨てるときは、市の指定のごみ袋に入れて、指定の場所においていただきたいです。

○成瀬議員

はい。議長

○加藤輔之議長

はい。成瀬徳夫くん。

○成瀬議員

私も、ポイ捨てには非常に困っています。私の地区では、地区のみなさんでごみを片付けるようにしています。ごみが捨てられたままにしておくと、そこへまた捨てられてしまうので、片付けることが必要です。環境課で「ごみを捨てないで」という看板を作っていますので、もらってきて看板を設置しています。みなさんも、自分で看板を作って設置することも一つの方法かと思います。まずはごみを見つけたら片付けて、きれいにすることが重要です。

○樋田議員

はい。議長

○加藤輔之議長

はい。樋田翔太くん。

○樋田議員

捨てないという事も大切ですが、駅前のごみ拾い、清掃のボランティアに参加して思う事です。まちのごみを拾っている人がいる。これは、あなたが捨てたごみを誰かが拾っているということなんです。例えば自分の敷地内のごみは拾いますよね。それを自分が住んでいるまち、住んでいる市の魅力を下げないためにごみを拾うのです。ごみを拾っている姿を見せて、心をきれいにすることが大事なのではないでしょうか。そのような活動があったら、ぜひ一緒に参加したいので、教えてください。

○瑞浪中学校 伊藤小桜さん

地域のボランティア活動に参加できるので、そういう意識から変えていきたいと思います。ありがとうございました。

○加藤輔之議長

瑞浪中学ありませんか。

－ 瑞浪中学校 加知俊太郎さんが挙手 －

○加藤輔之議長

瑞浪中学 加知俊太郎さん。

○瑞浪中学校 加知俊太郎さん

はい。瑞浪中学校の加知俊太郎です。先ほど、大橋こうきさんからの質問で瑞浪市民図書館のリニューアルの回答がありました。市民図書館は瑞浪駅北側に移動するとのことですが、現在の市民図書館の場所はどのように利用されるかを知りたいのと、新しい市民図書館にカフェが併設されるとのことですが、具体的にどんなお店かがあったら教えてほしいです。

○樋田議員

はい。議長

○加藤輔之議長

はい、樋田翔太くん。

○樋田議員

質問ありがとうございます。中に入るカフェについては、市民の方が起業するなど公募をかけて募集したり、大手の民間を呼ぶなど、今後検討して決定していきます。現在の図書館の跡地ですが、まだ移転することが正式に決定しているわけではないので、移設決定後の検討課題となります。跡地にこういった施設がほしいとか意見をお寄せする機会もあると思いますので、いろいろな意見をみなさまからいただきたいと思います。

○瑞浪中学校 加知俊太郎さん

ありがとうございます。

○渡邊議員

はい。議長

○加藤輔之議長

はい、渡邊康弘君。

○渡邊議員

市議会としても、これまでに岐阜のメディアコスモス等先進地の図書館を視察にいったり研究しています。皆さんからご意見をいただければ、それも併せて、市に伝えていきます。

○成瀬議員

はい、議長。

○加藤輔之議長

はい、成瀬徳夫君。

○成瀬議員

どういう図書館かなという意見がありましたが、私は、建築家で、瑞浪市の図書館と文化センターを作ったのです。当時、文化センターは最新で素晴らしいものでした。しかし時代は変わりまして、スタイルも変わりました。高梁市の図書館は、朝9時から夜9時まで開館していて、TUTAYAとスタバが入っています。スタバのコーヒーを飲みながら、TUTAYAで立ち読みができます。このような新しい形式の図書館が全国で広がっています。カルチャーコンビエンスクラブといいますが、皆さんもインターネットで調べてみてください。新しい図書館に対して、みなさんからこういう図書館がいいと提案していただくと、よりよい図書館になると思います。

○瑞浪中学校 加知俊太郎さん

今の図書館がなくなるのは悲しいことですが、新しい図書館がより良いものになるように新たな提案が出来たらとよいなと思いました。ありがとうございました。

○加藤輔之議長

他にありませんか。

－ 瑞浪南中学校 内田由香さんが挙手 －

○加藤輔之議長

瑞浪南中学校 内田由香さん。

○瑞浪南中学校 内田有香さん

はい。駅周辺開発の事について質問させていただきます。前回、オンラインで議会からの説明を受けた時に南中の生徒からアンケートで出たことですが、駅周辺を開発することで、人口密度が高くなって、騒音問題、ごみ問題等が起きてくるのではないかなという意見がありました。それらに対する対策は、どのように行っていきたいと思いますか。

○樋田議員

はい。議長

○加藤輔之議長

はい、樋田翔太くん。

○樋田議員

駅周辺の再開発ですが、便利なところって静かかなと思うと名古屋や東京等の街中は、便利である反面、騒音対策をしても、ごみ対策をしても、それらの問題が伴ってしまう状況で、これを別々にするとして考えるのは難しいと思います。

今、瑞浪駅が発展していない原因は、住宅と店舗がくっついているため人に貸せないことから、住宅としての利用が多い状況です。だから、店舗として利用できるように再整備することが必要で、それには税金を投入して、駅周辺を瑞浪の玄関口となるよう整備していかななくてはいけないです。また、建物が利用されていないところは、住宅として提供して、居住者を増やすような施策をとっていきたいと考えています。

騒音問題と、住みやすさは分けにくいですが、建物を建設する際には、防音対策等を考えていきますので、ある程度の配慮はできると思います。

○瑞浪南中学校 内田有香さん

駅周辺開発について、メリットやデメリットをよく考えていくくださることに感動しました。ありがとうございました。

○司会（大久保議員）

まだ、多くの質問や意見を述べたい生徒さんもみえますが、時間もせまっていますので、終わらせていただきます。では、本日の中学生のみなさんからいただいた質疑について、議長からひとこと述べます。

○加藤輔之議長

みなさん、大変ご苦労さんでした。今日は、9問の生徒さんからの質問と再質問で4人から質問ができました。議会としても、大変重く受け止めたいと思います。特に、瑞浪中学のアンケート調査から出てきた結果は、我々の胸にぐさりと刺さります。大変重要な指摘だったと思います。南中学の内田さんが中心だったと思いますが、外国人への対策として南中学では、生徒会の方針で外国人へのいろいろなポスターを作って外国人のみなさんのために多言語で対応していると聞いています。本日話されるかと思いましたが、謙遜されているので私から話しました。

アンケート調査では554件もの質問意見をいただきました。整理して、適切に対応していかなければならないと思っております。また、今後の議会活動に活かしてまいります。ありがたいご指摘をいただきましてありがとうございました。以上で終わります。

○司会（大久保議員）

総評をお願いいたします。瑞浪中学校工藤校長先生

○瑞浪中学校校長

まずもって、このような会を開いてくださったことをお礼申し上げます。また、先日は、市内3校3年生290名に丁寧な説明をいただきましたし、500以上の質問を目を通していただけたという事で感謝しております。ありがとうございます。参加した執行部から、生徒にしっかりと報告したいと思います。

3年生のみなさんは、教育長さんも言われた通り3年後には有権者となります。今回の生の市議会を通して、公民の授業で学ぶ本当によい機会をいただいたと思いますので、より身近に感じて深く学んでいってほしいなと思います。質問内容についても、アンケートではトイレを直してほしいとか、マーマレードのお店を作してほしいとか個人的な意見が大変多かったですが、それはおいておいて、瑞浪市のこれからの事について質問してくれたことに感謝しましたし、とてもうれしいなと思いました。

最後に議員のみなさんにおかれましては、市内中学校生徒の声を聴いていただいて生徒なりに真剣に考えているという事や、まだまだ勉強が足りていないなという事があると思います。また、後日乾燥を聞かせていただければ私共も指導してまいりたいと思いますので、よろしくをお願いします。

そして、きょうの生徒の声がそのまますぐに実現するとは思いませんが、一つでも形になっていけば、ますます議会や地方自治が身近になっていくのではないかと思います。今日の会が、パフォーマンスで終わってしまわないように、ぜひ様々な年代や特に若い年代の人たちの意見を聴いていただいたり、議会が市政について丁寧に説明していただけるとありがたいな、そうすれば、若者が地域から離れていかないのでわないかと思います。本日は、誠にありがとうございました。

○司会（大久保議員）

ありがとうございました。終わりのことばを広報広聴委員長よりお願いします。

○広報広聴委員長（小木曾議員）

大変長時間にわたりお疲れさまでした。

今回の意見交換会の実現には、先生方に大変お世話になりありがとうございました。3校できれば一緒に開催したいと思いましたがコロナ禍で難しいかと思ったところ、工藤校長先生から、丁度中学3年生が主権者教育の頃になる、国が主権者教育に力を入れるとのことで、開催に向けて準備を進めることが出来ました。加納校長先生から、事前レクチャーが必要ではないかいただきましたので、10月5日に議会の役割、市が進めていること、主権者である皆さんができることは何かの問いかけをさせていただき、先ほど議長が申しましたように、554件ものご意見をいただき、今日はそのうちの9件を答えさせていただいたことになります。答えになっていたかどうかは、これから私たち自身で精査していきたいと思います。10月5日に出た意見、質問は合わせて、また回答させていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

また、安藤校長先生からは、『瑞浪市というバトンをもって全力疾走で駆け寄ってくる市議会議員の方々の姿が浮かんできます』というとてもうれしいお話を学校のホームページにアップしていただきました。

本日、最初に思い描いたとおり、議場でみなさんと意見交換ができたことを大変うれしく思っています。思うこと、思い続けることの大切さを改めて私自身が体験できたと思っています。これを機会に、瑞浪をつくっていくのは自分たちだという気持ちを持ち続けてください。あなた方は、成人を迎え選挙権を手にすることができます。どうか、今日の気持ちを忘れず、いつかみなさんの中から市議会議員を目指す人が現れることを期待して、本日の意見交換機を閉じたいと思います。なお、本日の模様は瑞浪市ホームページにアップ、また令和4年2月1日号の議会ちゃんねるに乗せさせていただきますので、楽しみにお待ちください。本当に今日はありがとうございました。

17:15 閉会